やってみよう!パソコンデータ入力 Ver3.1 - サーバー構築設定手順書 -

2010年11月15日

目次

目次	2
1. 準備いただくもの	3
1.1. 準備	3
2. SQLServer2008 R2 ExpressEditionのインストール	4
2.1. インストールの前に	4
2.2. インストール	6
2.3. 設定一覧1	1
2.3.1. 機能の選択からサーバーの構成までの設定1	1
2.3.2. データベースエンジンの構成1	1
3. SQL Serverの設定12	2
3.1. リモートから接続	2
4. やってみよう!パソコンデータ入力Ver3.1用データベースの作成 24	0
5. マスターデータの登録 2	1
6. 共有フォルダの作成	4

1. 準備いただくもの

1.1. 準備

「やってみよう!パソコンデータ入力 Ver3.1 ネットワーク対応」版サーバー構築にあたり,まず、以下のご準備をしてください。

No	準備いただくもの	方法
1	OS	左記のサーバーOS のパソコンをご準備いただき、必
	(Windows2003Server または、Windows2008Server)	ず WindowsUPDATE を行なってください。
2	サーバー構築セット	障害者職業総合センターよりダウンロード頂きまし
		た本手順書を含むフォルダー式をご準備ください。
		• 本手順書
		 データベース作成スクリプト
		 移行ツール
3	Microsoft SQLServer2008R2 ExpressEdition	※1 Microsoft 社ホームページよりダウンロードを
	(SQLEXPRADV_x86_JPN.exe)	してください。

※1. Microsoft SQLServer2008R2 ExpressEdition ダウンロードURL(2010年11月現在) 下記 URL より、「SQLEXPRADV_x86_JPN. exe」をダウンロードしてください。 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=E08766CE-FC9D-448F-9E98-FE84AD61F135&displaylang=ja

- SQL Server 2008 R2 Expressの個人用コピーを登録してください。			
- SQL Server 2	- SQL Server 2008 R2 Express を使ってアプリケーションのビルドや配布を行う場合は、 <u>無償再配布権</u> にサインアップしてください。		
- SQL Server 2	008 R2 の機能強化のために、 <u>Microsoft® Connect</u>	にバグ情報をお寄せください。	
↑ <u>ページトップへ</u>			
このダウンロードに 以下は、このダウ	: 含まれるファイル ンロードに含まれている各ファイルへのリンクです。該	当するファイルをダウンロードしてください。	
ファイル名 :		ファイル サイズ	
SQLEXPRADV_3	k64_JPN.exe	851.1 MB	ダウンロード
SQLEXPRADV_2	x86_JPN.exe	778.9 MB	ダウンロード
↑ <u>ページトップへ</u>			
関連リソース 1. <u>埋め込み、ア</u>	ップグレード、およびカスタム インストール		

URL は Microsoft 社により変更になる場合があります。もし上記画面が出ない場合は「SQLEXPRADV_x86_JPN. exe」にて検索 をしてください。

2. SQLServer2008 R2 ExpressEditionのインストール

2.1. インストールの前に

SQLServer2008 R2 ExpressEdition のインストールにあたり、以下 Microsoft 社のソフトが必要になります。 下記 1~3 がインストールされていない場合、SQLServer2008 R2 ExpressEdition をインストールすることが出来ません。

No	必要なソフト	インストール方法
1	.NET Framework 3.5 SP1	WindowsUPDATE にてインストールされます。
		「コントロールパネル」⇒「プログラムと機能」にて「Microsoft.NetFramework3.5」
		(以上であれば問題ありません)があることを確認してください。もし、無い場合
		WindowsUPDATE にて「Microsoft .NetFramework3.5」をインストールしてください。
2	Microsoft Windows インス	■ Windows2003Server の場合
	トーラ 4.5	※1 Microsoft 社ホームページより「WindowsServer2003-KB942288-v4-x86.exe」を実
		行し、インストールしてください。
		■ Windows2008Server の場合
		既にインストールされていますので、インストールの必要はありません。
3	PowerShell 1.0	■Windows2003Server の場合
		※2 Microsoft 社ホームページより「WindowsServer2003-KB926140-v5-x86-JPN.exe」
		をダウンロードし、インストールしてください。
		■Windows2008の場合、下記の手順にてインストールを行います。
		1. スタートメニューからサーバー マネージャを起動し、[機能] をクリックします。
		2. 詳細ウィンドウで、[機能の追加] をクリックします。
		3. [機能] ボックスの一覧で、[Windows PowerShell] チェックボックスをオンにし、
		[次へ] をクリックします。
		4. [インストール] をクリックします。

※1Microsoft 社「Microsoft Windows インストーラ 4.5」ダウンロード先 URL (2010 年 11 月現在)
 ・Microsoft Windows インストーラ 4.5(2003Server 用)

http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=5A58B56F-60B6-4412-95B9-54D056D6F9F4&displaylang=ja

このダウンロードに含まれるファイル 以下は、このダウンロードに含まれている各ファイルへのリン	ウです。該当するファイルをダウンロードしてく	ださい。
ファイル名:	ファイル サイズ	
redist.txt	2 KB	ダウンロード
Windows6.0-KB942288-v2-ia64.msu	3.4 MB	ダウンロード
Windows6.0-KB942288-v2-x64.msu	2.9 MB	ダウンロード
Windows6.0-KB942288-v2-x86.msu	1.7 MB	ダウンロード
WindowsServer2003-KB942288-v4-ia64.exe	24.6 MB	ダウンロード
WindowsServer2003-KB942288-v4-x64.exe	4.5 MB	ダウンロード
WindowsServer2003-KB942288-v4-x86.exe	2.9 MB	ダウンロード
WindowsXP-KB942288-v3-x86.exe	3.2 MB	ダウンロード

※2Microsoft 社「PowerShell 1.0」ダウンロード先 URL (2010 年 11 月現在)

• PowerShell 1.0

http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=C61FB27B-E71C-4ECF-9D2C-9B299B149490&displaylang=ja

このページの内容	
ファイル名:	WindowsServer2003-KB926140-v5-x86-JPN.exe
バージョン:	926140
サポート技術情報 (KB)の記事:	<u>KB926140</u>
公開された日付 :	2008/06/23
言語:	日本語
ダウンロード サイズ:	1.7 MB
推定ダウンロード時間:	ダイヤルアップ (56K) 💙 4 分
言語の変更:	日本語

2.2. インストール

インストールには, Microsfot SQL Server 2008 R2 RTM - Express with Management Tools, P3 でご用意頂いた「SQLEXPRADV_x86_JPN.exe」を実行します。

1. インストーラーの起動



インストーラーを起動すると上の画面で止まります。 『新規インストールを実行するが、既存のインストールに機能を追加します。』をクリックします。

2. ライセンスに同意

ライセンス条項 SQL Server 2008 R2をインス	トールするには、マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意する必要があります。
ライセンス条項 セットアップ サポート ファイル	マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 MICROSOFT SQL SERVER 2008 R2 EXPRESS WITH TOOLS MICROSOFT SQL SERVER 2008 R2 EXPRESS WITH ADVANCED SERVICES 本マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 (以下、「本ライセンス条項」といい ます) は、お客様と Microsoft Corporation (またはお客様の所在地に応じた関連会社。以 下、「マイクロソフト」といいます) との契約を構成します。以下のライセンス条項を お読みください。本ライセンス条項は、上記のソフトウェアおよびソフトウェアが記 録された メディア (以下総称して「本ソフトウェア」といいます) に通用されます。また、本ラ イセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロソフト 製品にも適用されるも のとします。 ・ 更新プログラム

上記画面で止まり、ライセンスへの同意を求められるので、『ライセンス条項に同意する。』をクリックして、チェックを入 れた上、『次へ』をクリックします。

機能の選択

	many means the second
インストールする Express with Advanced Services 機能を選択します。	
セットアップ サポート ルール ライセンス条項 者能の変れ インストール ルール インストール ルール インスタンスの構成 必要なディスク領域 サーバーの構成 データベース エンジン サービ SOL Server レブリケー 本有戦能 ビ 管理シール - 基本 ビ SOL クライアント接続 SDK 再始布可能な機能 第一部本機能	送日月 アークの名称、処理、およびセキュリテ イ保護のためのコア サービスであるデータ タベース エンランは、単同点されたアクセ えらせび高速なトランサクション処理 を提供します。
<u>すべて選択(A)</u> すべて選択(A) 共有機能ディレクトリ(<u>S</u>):	C#Program Files#Microsoft SQL Server#

インストールする機能を選択する画面で止まります。全て選択されていることを確認して、『次へ』をクリックします。

4. インスタンスの構成

SQL Server 2008 R2 セットア・ インスタンスの構成 SQL Server インスタンスの名前 SQL Server インスタンスの SQL Server インスタンスの名前 SQL Server インスタンスの名 SQL Server Server インスタンスの名前 SQL Server Serv	ラブ あよびインスタンス ID を指定します。イン	スタンス ID は、インストール パ	えの一部になります。	
セットアップ サポート ルール ライセンス条項 機能の選択 インストール ルール インストース ルール	 ○ 既定のインスタンス(型) ○ 名前付きインスタンス(A): 	SQLExpress		
必要なディスク領域 サーバーの構成 データベース エンジンの構成 エラー レポート インストール構成ルール	インスタンス ルート ディレクトリ(C#Program Files#Micros C#Program Files#Micros 	oft SQL Server¥ oft SQL Server¥MSSQL10_50.	 SQLExpress
インストールの進行状況 完了	1 シストール 用のロイ シスシンスト	レー タンス ID 機能	エディション	バージョン
		< 戻る	5(<u>0)</u>)\$1\(<u>10</u>) >]_ ##	

データベースサーバーの構成を設定する画面で止まります。初期値のまま、変更の必要はありません。『次へ』をクリックします。

5. サーバーの構成

🚼 SQL Server 2008 R2 セットアップ	
サーバーの構成 サービス アカウントと照合順序の構	b指定します。
セットアップ サポート ルール ライセンス条項 機能の選択 インストール ルール インスタンスの構成 必要なディスク領域 サーバーの構成 データベース エンジンの構成 エラー レポート インストール構成ルール インストール構成ルール インストール構成ルール	サービス、アカウント 照合順序 各 SQL Server サービスに別々のアカウントを使用することをお勧めします(M) サービス アカウントを使用することをお勧めします(M) サービス アカウントを使用することをお勧めします(M) SQL Server Database Engine NT AUTHORITYSYSTEM SQL Server Browser MT AUTHORITYSYSTEM 自動 ▼ SQL Server Browser MT AUTHORITYSYSTEM すべての SQL Server サービスで同じアカウントを使用する(L)
	_ 〈戻る(2 」 次へ(2) > 」 キャンセル _ ヘルブ

SQL Server サービスに関する設定を行う画面で止まります。SQL Server Database Engine のアカウント名をプルダウンか ら『NT AUTHORITY¥SYSTEM』を選択します。パスワードは空のままにしてください。

次に照合順序タブを開いて、『データベース エンジン』が『Japanese_CI_AS』であることを確認してください。

カスタマイズ(Q)_ たりする、かななどをりしな ータについてコードページ

確認ができましたら、『次へ』をクリックします。

6. データベースエンジンの構成

第SQL Server 2008 R2 セットアップ データベース エンジンの構成 データベース エンジンの認証セキュリ	レーロス 艾 ティモード、管理者、およびデータ ディレクトリを指定します。
セットアップ サポート ルール ライセンス奏項 概範の選択 インストール ルール インスタンスの構成 必要友行えた25 領域 サーバーの構成 データベース エンジンの構成 エラーレポート インストール構成ルール インストール構成ルール インストールの進行状況 完了	アカウントの準備 データティレクトリ データベース エンジンの認証モードねよび管理者を指定します。 記証モード 〇 Windows 認証モード(W) ・ 混合モード(M) (SOL Server 認証と Windows 認証) SOL Server のシステム管理者 (e3) アカウントのパスワードを指定します。 パスワードの入力(E): ******** パスワードの確認入力(Q): ********* パスワードの確認入力(Q): ********* SOL Server 管理者の指定 YATTEMIYOU-SVR¥Administrator (Administrator) SOL Server 管理者の指定 YATTEMIYOU-SVR¥Administrator (Administrator) SOL Server 管理者の指定 YATTEMIYOU-SVR¥Administrator (Administrator) SOL Server 意見を見合いた(Administrator) SOL Server 意見を見合いた(Administrator) SOL Server 意見を見合いた(Administrator)

データベースの別の設定を行う画面で止まります。初期値では、『Windows 認証モード』が選択されていますが、『混合モード』を選択します。

『SQL Server のシステム管理者 (sa) アカウントのパスワードを指定します。』にデータベースの管理者用のパスワードを 入力します。

データディレクトリタブと、FILESTREAM タブは以下の画面のようになっておりますが、変更の必要はありません。

₩SQL Server 2008 R2 セットアップ		
テータペース エンジンの構成 データベース エンジンの認証セキュリテ	ィモード、管理者、およびデータ ディレクトリを指定	ELat.
セットアップ サポート ルール ライセンス条項 概能の選択 インストール ルール インスタンスの構成 必要なディスク領域 サーバーの構成 デー - ウベース エンジンの構成 エラー レポート インストール構成ルール インストール構成ルール インストールの通行状況 完了	アカウントの準備 データディレクトリ」 FILE データ ルート ディレクトリ(型): システム データベース ディレクトリ(型): ユーザー データベース ディレクトリ(型): ユーザー データベース ログ ディレクトリ(型): Temp DB ヴ ディレクトリ(型): バックアップ ディレクトリ(型):	C#Program Files#Microsoft SQL Server#
		< 戻る(B) (次へ(N) > キャンセル ヘルブ)

第SQL Server 2008 R2 セットアップ データペースエンジンの構 データベースエンジンの認証セキュ	× 成 リティ モード、管理者、およびデータ ディレクトリを指定します。
セットアップ サポート ルール ライセンス条項 裸能の選択 インストール ルール インスタンスの構成 必要なディスク領域 サーバーの構成 データベース エンジンの構成 エラー レポート インストール構成ルール インストールの運行状況 売了	アカウントの準備 データ ディレクトリ FILESTREAM 「Transact-SQL PDセスに対して FILESTREAM を有効にする(E) 「ファイル レO ストリーム アクセスに対して FILESTREAM を有効にする(E) Windows 共有名(M): SOLEXPRESS 「リモート クライアントに FILESTREAM データへのストリーム
	< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル ヘルブ

『次へ』をクリックします。

7. エラーレポート

エラー レポート SQL Server の機能やサービス	改善への協力。
セットアップ サポート ルール ライセンス条項 概能の選択 インスタンスの構成 ションストール ルール インスタンスの構成 サーバーの構成 データベース エンジンの構成 エラーレポート インストール構成ルール インストール構成ルール インストール構成ルール インストール構成 完了	今後のリリースの SOL Server の改革に役立てるために Microsoft に自動かりに送信する情報を指定します。これらの 設定はオブシュアです。この情報は視聴で時報として取り知力すす。されの同時オログラムは、自動更新の設定に応じて 自動的にコンピューターにジウンロードおよびインストールされることがゆります。 種種については、Microsoft SOL Server 2008 F2 のプライパシーに関する声明を参照して(ださい。 Microsoft Update と自動更新の設計細を参照します。 「 Windows および SOL Server のエラー レポートを Microsoft または企業内のレポート サーバーに送信します。この 設定は、ユーザーの介入なしに実行されるサービスのみに適用されます。(例)

エラーが発生した場合に、その内容をマイクロソフトに送信するオプションを選択できますが、何も変更しないで、送信し ない初期値のまま、『次へ』をクリックします。 8. インストールの完了

馀SQL Server 2008 R2 セットア:	
完了 SQL Server 2008 R2 のインス	トールが正常に完了しました。
セットアップ サポート ルール ライセンス条項 概能の選択 インストール ルール インスタンスの構成 必要なディスク領域 サーパーの構成 データベース エンジンの構成 エラー レポート インストール構成ルール インストール構成ルール	構要ログファイルの保存先 <u>CVProgram FilestMicrosoft SOL Server¥100¥Setup Bootstrac¥Log¥20101104 180534¥Summary yattemiyou</u> <u>=svr 20101104 180534 txt</u> セットアップ操作または実行可能な次の手順に関する情報型 SOL Server 2008 R2 のインストールが正常に完了しました。
	補足情報(S). レリエの社会事項は、このIIIIフの SOL Server だけに適用されます。
	Microsoft Update Microsoft Update Microsoft Update を使って SOL Server 2008 R2 の更新プログラムを特定する方法の詳細については、Microsoft Update Web サイト <u>0.ttp://co.microsoft.com/twink/?Link.d=108409</u>) を参照してください。 サンプル 既定では、SOL Server のセットアップ時にサンプル データベースとサンプル コードはインストールされません。Express
	開ける パルプ パルプ

以上の画面が出ましたら、インストールが完了しました。『閉じる』をクリックして、インストールを終了します。

2.3. 設定一覧

説明中に出てきた設定の一覧を記述します。

2.3.1. 機能の選択からサーバーの構成までの設定

No	設定	設定内容
1	機能の選択	データベース エンジン サービス
		SQL レプリケーション サービス
		管理ツール - 基本
		SQL クライアント接続 SDK
2	インスタンス	名前付きインスタンス → SQLExpress
3	インスタンス ID	SQLExpress
4	サービス アカウント SQL Server	NT AUTHORITY¥SYSTEM
	Database Engine	
5	照合順序(データベースエンジン)	Japanese_CI_AS

2.3.2. データベースエンジンの構成

No	タブ	設定	設定内容	備考
1	アカウントの	認証モード	混合モード	
2	準備	ビルトイン SQL Server シス テム管理者アカウントのパス	(非公開)	
3		- シート SQL Server 管理者の指定	Administrator	

3. SQL Serverの設定

インストールに続いて、「やってみよう!パソコンデータ入力 Ver3.1 ネットワーク対応」版に必要な設定を行ないます。

3.1. リモートから接続

サーバー以外のマシンから接続できるように設定を変更します。

1. SQL Server 構成マネージャを起動

すべてのプログラム \rightarrow Microsoft SQL Server 2008 R2 \rightarrow 構成ツール \rightarrow SQL Server 構成マネージャーをクリックします。

Administrator				
🚺 サーバーの役割管理	😏 マイ コンピュータ			
コマンド プロンプト	לא ארים ארב 🔂	•		
	🕎 管理ツール	•		
19270-9	ジリンタと FAX (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			
メモ帳	(型) ヘルプとサポート(圧)			
SQL Server Manageme 🖣	y Mac (の) Windows Update			
	② Windows カタログ ● Microsoft Lindate	<u>v</u>		
SUL Server 1453, VA-	 アクセサリ 	,		
(コ スタートアップ			
()	☆ 管理ツール ● Internet Explorer)		
4	Dutlook Express			
ġ	D リモート アンスタンス Microsoft SQL Server 2008 R2	🕨 💼 Inte	gration Services	
すべてのプログラム(P) 🔸	Microsoft SQL Server 2008	▶ 💼 構5	ネツール	
	ועיאי 🚺 🚺 בולאם 🖉	್ರಸ್ 🔆 SQI ್ರೈ ಸ್ –	. Server Management Studio タのインポートおよびエクスポート ©	32 ビット

2. プロトコルの設定

🚡 Sql Server Configuration Manager				
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)				
⇔ → 🗈 🗳 🗟 🔮				
SOL Server 構成マネージャー (ローカル) SOL Server 初ナビス SOL Server カナビス SOL Server カナワークの構成 こころいた Sole XPRESS のプロコル E SOL Native Client 100 の構成	プロトコル名 〒 共有シモリ す 品向ける/パノ す TOP/P す VIA	<u>状態</u> 有効 無効 無効	有効化(E) 無効化(D) プロパティ(B) ヘルプ(H)	
「堪かしたノロトコルを有めたします。				J

SQL Server 構成マネージャ → SQL Server ネットワークの構成 → SQLEXPRESS のプロトコル → TCP/IP を右クリックして, メニューから『有効』を選択します。

3. ポートの設定

hanager			
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)			
 	<u>プロトコル名</u>	有効(上(2) 無効(上型 プロパティ(R) ヘルプ(<u>世</u>)	
1.1 選択した項目のプロパティ ダイアログ ボックスを聞きます。	1		

TCP ポート		
TOP 動的ポート	0	
アウティブ	ដេល	
有効	いいえ	
- IP2		
IP アドレス	127.0.0.1	
TOPポート		
TOP 動的ボート	0	
アウティノ	(JL)	
	FIETZ	
TOPボート	1 433	
TCP 動的ポート		
		<u> </u>
TCP 動的ポート		
動的ポートが無効な場合は空	白。動的ポートを使用するには、りに認	と定します。

同じ画面のまま, TCP/IP を右クリック → プロパティ → IP アドレスタブ → IPA11 の TCP ポートを 1433 に, TCP 動的ポートを空にします。

変更が終りましたら,『OK』をクリックします。

4. リモート接続用プログラムの起動設定

Sql Server Configuration Manager					_ 🗆 🗵
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)					
 	名前 SOL Server (SOLEXPRESS) SOL Server Agent (SOLEXPR SOL Server Browser	状態 第行中 係止 第定の 一時存止(P) 再閉(E) 再閉(E) 本月日(D) 人力づ(f)	閉始モード 自動 その他 (ブート、システ. その他 (ブート、システ.	ロガオン LocalSystem NT AUTHORTY¥LO.	プロセス ID 3280 0 0
					ы
選択した項目のフロパティ ダイアログ ボックスを聞きます。	<u>1.1</u>				

SQL Server のサービス \rightarrow SQL Server Browser を右クリックして、メニューから『プロパティ』をクリックします。

SQLサービスの種類 エラー制御	SQL Browser
パイテリバス プロセス ID ホスト を	
開始モード 終了コード 状態 名前	無効 定 自動 無効 手動

 始モード のサービッの問題をエード	

サービスタブをクリックして、開始モードを自動に変更します。変更が終りましたら、『OK』をクリックします。

以上でサーバー以外のマシンから接続できるようにする設定は完了です。 ※Windows ファイヤーウォールを有効にしている場合は, TCP の 1433 番を受信できるように設定してください。 5. Windowsファイヤーウォールの設定

コントロールパネル → windows ファイアウォール を起動します。(2008Server の場合下記画面にて『設定の変更』をクリ ックします。)



Windows ファイアウォールの設定が「無効(推奨されません)」を選択の場合は、そのまま『OK』ボタンをクリックしてください。 Windows ファイアウォールの設定が「有効(推奨)」を選択の場合は、以降の設定を行ってください。

※Windows ファイアウォールの設定を「有効」にするか「無効」にするかは、セキュリティポリシーに関わりますので ネットワーク管理者様ご判断にてお願い致します。 有効を選択した場合、「例外を許可しない」をチェックオフにし、「例外」のタブをクリックしてください。

	All the second s		
全般 例外 詳細設定			
例外を使用して、Windows T アウォール経由の通信を許可 Windows ファイアウォールには プログラムのブロックを解除する	ファイアウォール経由でブロ するには、プログラムまた 、現在 プライベート ネッ Sとどのような危険性があ	ログラムが通信する方法を はポートの例外を追加して トワークの場所の設定が(! りますか?	制御します。ファイ ください。 更用されています。
例外を有効にするには、チェッ	ク ボックスをオンにしてくだ	さい(T):	
プログラムまたはポート			
BITS ピア キャッシュ			
COM+ ネットワーク アク	セス		
□ iSCSI サービス			
■ Netlogon サービス			
□ Secure Socket トンネリ	ング プロトコル		
SNMP Trap			
Windows Management	: Instrumentation (WMI)	
Windows セキュリティの	構成ウィザード		
□ Windows ファイアウォー,	ルリモート管理		
□ Windows リモート管理			
□キー管理サービス			
I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	*******		_
プロガニルの注意tm(P)	CHECKNEE MOT	-3n18∓2(0)	晋山居全(つ)
			HUMARY
□ Windows ファイアウォール	による新しいプログラム の	ブロック時に通知を受け取	ଅଟ(<u>B</u>)
	OK	التطريقي طر	2本田(な)

『ポートの追加ボタン』をクリックしてください。

ボートの追加 Windows ファイアウ	フォールでポートを開くには、この設定を使用してください。ポート番号お。	<u>×</u> זט
/UPU/NEUCO	よ、1変用するノロジラムまたはリービスのトキユメノトを愛想していたでい。 	
名前(<u>N</u>):	SQLServer	
ポート番号(<u>P</u>):	1433	
לעבאסל		
<u>ポートを開くことによ</u>	る危険とはどのようなことですか?	
スコープの変更(<u>C</u>)] OK キャンセル	,

『名前』に「SQLServer」、『ポート番号』に「1433」を設定し、『OK』ボタンをクリックしてください。



リストに「SQLServer」が追加され、チェックオンになっていることを確認し『OK』ボタンをクリックしてください。

6. SQLServer再起動

設定を有効にするために, SQL Server を再起動します。

hanager					_ 🗆 🗡	
ファイル(E) 操作(A) 表示(A) ヘルプ(H)						
P+ルED 採作EM 表示(型 ヘルノ(型) C (型) Sol Server 構成マネージャー (ローカル) Sol Server 構成マネージャー (ローカル) Sol Server ネットワークの構成 G (ローカー) Sol Server ホットワークの構成 G (ローカー) Sol Server ホットワークの構成 Sol Native Client 100 の構成	名前 SOL Server (の日知時にSS) 第日 SOL Server (停止の) 一時停止の 正 時間(た) 再間(た) 不以方子(R) へルブ(出)	開始 日 その その	験Eモード 動 の他(グート、システ の他(グート、システ	ログオン LocalSystem NT AUTHORITY#NE NT AUTHORITY#LO	プロセス ID 1236 0 0	
	 ▲				Þ	
選択したサービスを再起動(停止して開始)します。						

SQL Server 構成マネージャ → SQL Server のサービスにて [SQL Server (SQLEXPRESS)] を右クリックして、 [F]再起動』を クリックします。

7. SQL Server Browser開始



『SQL Server Browser』を右クリックして、『開始』をクリックします。

4. やってみよう!パソコンデータ入力Ver3.1 用データベースの作成

やってみよう!パソコンデータ入力 Ve3.1 用「LetsTry01」データベースを作成します。 作成用のファイルを用意しております。

1. P.3 にてご用意頂きました「サーバー環境構築セット」を準備してください



「サーバー環境構築セット」の「データベース作成スクリプト¥データベース構築.bat」をダブルクリックします。 自動でデータベースが作成されます。

デフォルトで作成されるユーザー名は「letstry01_user」、パスワードは「letstry01_password」になります。

変更及び、ユーザーの追加を行なう場合は、「スタートメニュー」「すべてのプログラム」「Microsoft SQL Server2008R2」 「Microsoft SQLServer Management Stadio」より行なってください。

ユーザー名、パスワードは「やってみよう!パソコンデータ入力 Ver3.1」の設定にて必要になりますので忘れないようにしてください。

5. マスターデータの登録

マスターデータは、専用の移行ツールでMS Access ファイル(拡張子 mdb)より SQL Server に移行します。

1. 移行ツールの起動

P.3 にてご用意頂きました「サーバー環境構築セット」を準備してください 移行ツールは SQL Server がインストールされているマシンで実行します。

	🚞 C:¥データ移行					
	ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻)	お気に入り(<u>A</u>)	ツール(エ) へルプ	λ(Ħ)		
	😋 戻る 🔹 🕥 🝷 🤣 🔎 検索	🌔 フォルダ 📋	😼 🌶 🗙 🍤			
	アドレス(D) 🗁 C:¥データ移行				-	🔁 移動
H	名前	サイズ	種類	更新日時	属性	
	📾 マスターデータ移行ツール.exe 🚽	252 KB	アプリケーション	2010/11/12 14:54	A	
Ļ	LetsTry01.mdb	17,272 KB	MDB ファイル	2007/01/09 19:27	A	
I						

「サーバー環境構築セット」の「移行ツール¥マスターデータ移行ツール.exe」をダブルクリックします。

2. 移行対象アクセスファイルの選択

移行ツールが起動されると、下記画面が表示されます。

🙀 Ver.3.0マスターデータ移行ツール	×
アクセスファイル	参照
移行開始	
	<u>^</u>
	T
	終了

移行対象のアクセスファイルを選択します。『参照』をクリックしてください。

3. 移行対象アクセスファイルの選択(2)

ファイルを選択する画面が表示されます。

ファイルを開く					? ×
ファイルの場所①	🗁 データ移行		•	🗕 🗈 💣 🎟	
していたファイル	LetsTry01.mdb				
び デスクトップ					
27 K*13VK					
ער זיאין אין אין					
81 4952-9	 ファイル名(N):	LetsTry01.mdb		•	III (D)
	ファイルの種類(工):	Accessファイル(*.mdb)		▼	キャンセル

「サーバー環境構築セット¥移行ツール¥」にあります「LetsTry01.mdb」を指定し『開く』をクリックしてください。

4. 移行の開始

選択したファイルのパスが表示されます。

🙀 Ver.3.0マスタ	ーデータ移行ツール	×
アクセスファイル	C¥データ移行¥LetsTry01.mdb	● ₩
	移行開始	
		<u> </u>
		終了

『移行開始』をクリックすると、移行が始まります。『移行開始』をクリックしてください。

5. 移行の完了

移行が完了したデータから表示されていきます。全てのデータの移行が完了すると最後に『移行が完了しました。』のメッセ ージが表示されます。

<mark>霧</mark> Ver.3.0マスターデータ移行ツール	×
アクセスファイル C¥データ移行¥LetsTry01.mdb	参照
移行開始	
KEN_ALLを移行しました。 KEN_ALL Versionを移行しました。 Mst01を移行しました。 Mst02を移行しました。 Mst02を移行しました。 Mst04を移行しました。 Mst04を移行しました。 Mst04Errorを移行しました。 移行が完了しました。	×.
	終了

『終了』をクリックして、移行ツールを終了してください。

以上でマスターデータの移行は完了です。

6. 共有フォルダの作成

「やってみよう!パソコンデータ入力 Ver3.1 ネットワーク対応」版を使用するには、解析結果保存用の共有フォルダをサーバーに作成する必要があります。

1. フォルダの作成



任意の場所にフォルダを作成し、該当フォルダを右クリックで「共有とセキュリティ」をクリックします。 (フォルダ名は何でも構いませんが、ここで設定するフォルダ名は「やってみよう!パソコンデータ入力 Ver3.1 ネットワー ク対応」版の設定で必要になりますので、忘れないようにしてください。) 2. 共有フォルダの設定

以下のフォルダのプロパティ画面が表示されます。

新しいフォルダのプロパティ ? 🛛				
全般 共有 セキュリティ カスタマイズ				
このフォルダをネットワーク上のほかのユーザーと共有できます。このフォ ルダを共有するには [このフォルダを共有する] をクリックしてください。				
○ このフォルダを共有しない(№)				
- · · このフォルダを共有する(S)				
共有名(出): 新しいフォルダ				
الالالة (@،٩٧٤) (@،٩٧٤)				
ユーザー数制限: ④ 無制限(<u>M</u>)				
○ 許可するユーザー数(₩):				
ネットワークを経由してこのフォルダにアクセスするユー ザーのためにアクセス許可を設定するには、「アクセス 許可」をクリックしてください。				
オフライン アクセスの設定を構成するには、「キャッシュ」 キャッシュ(G) をクリックしてください。				
このフォルダを、ネットワーク上の他のコンピュータと共有できるよう、Windows ファイアウォールを構成します。 <u>Windows ファイアウォールの設定を表示します。</u>				
OK キャンセル 適用(A)				

「このフォルダを共有する」をチェックオンにし、「アクセス許可」ボタンをクリックします。

3. アクセス許可

以下のフォルダのアクセス許可画面が表示されます。

新しいフォルダ のアクセス許可		? ×
共有アクセス許可		
グループ名またはユーザー名(<u>G</u>):		
🚮 Everyone		
	追加(<u>D</u>)	削除(<u>R</u>)
Everyone のアクセス許可(P)	 許可	
フル コントロール 変更 読み取り		
ОК	キャンセル	適用(<u>A</u>)

許可の欄を全てチェックオンにし、『OK』ボタンをクリックし、フォルダのプロパティ画面で『OK』ボタンをクリックします。

これで、「やってみよう!パソコンデータ入力 Ver3.1 ネットワーク対応」版のサーバー環境構築は完了になります。